



Japan Healthcare
Business Contest

2020

Healthcare

ジャパン・ヘルスケア ビジネスコンテスト 2020

2020年1月23日(木)

日本橋室町三井タワー 3階 室町三井ホール&カンファレンス

【主催】 経済産業省

【協力】 厚生労働省／株式会社INCJ／株式会社海外需要開拓支援機構／国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構／株式会社地域経済活性化支援機構

独立行政法人中小企業基盤整備機構／一般社団法人日本医療ベンチャー協会／株式会社日本政策投資銀行／独立行政法人日本貿易振興機構／JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)

Healthcare



Japan Healthcare
Business Contest

2020

ジャパン・ヘルスケア ビジネスコンテスト 2020

我が国は、世界に先駆けて超高齢社会に突入し、社会保障費の増加や、生活習慣病や認知症の患者数の増加、医療格差、介護施設または人材不足等の社会的な課題が現実となっており、それらの課題を解決し、国民の健康に対する多様なニーズに対応する新たなヘルスケア産業の継続的な創出と発展が必要となっています。経済産業省では、ファンドや民間事業者等の『サポート団体』や『連携イベント』等と有機的なネットワークを構築し、それらとの連携によって事業創出に必要な資金提供や優良事例の顕彰、新たにヘルスケアビジネスに参入するプレイヤーの発掘等を行い、ヘルスケア分野におけるエコシステムを構築することを目的として、「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト」を開催してきました。本コンテストや、ヘルスケアビジネスに関するワンストップ相談窓口「Healthcare Innovation Hub(通称:InnoHub)」による支援を通して、ベンチャー企業等の自立的かつ持続的な成長を促すことに加えて、ヘルスケア産業の大きな潮流を生み出すことを目指します。

経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課

INDEX

インデックス

ごあいさつ	p 01
イベントプログラム	p 02
ビジネスコンテスト部門	
ファイナリスト 事業内容概要	p 03
セミファイナリスト	p 07
ビジネスコンテスト部門	
ファイナリスト 事業内容概要	p 08
セミファイナリスト	p 13
審査員	p 14
サポート団体	p 15
連携イベント	p 28
協力団体	p 31
過去グランプリ受賞者からのメッセージ	p 33

EVENT PROGRAM

イベントプログラム

2020年1月23日(木) 室町三井ホール&カンファレンス

オープニング ————— 13:00~13:20

IDEA

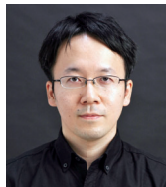
アイデアコンテスト部門
ファイナリスト プレゼンテーション

13:20~14:20



Hakara
歯科医師
清水 章矢氏

p03



大阪大学大学院
医学系研究科
心臓血管外科医師
三隅 祐輔氏

p04



湯野川 恵氏

p05



カイトク株式会社
代表取締役
武藤 高史氏

p06

BUSINESS

ビジネスコンテスト部門
ファイナリスト プレゼンテーション

14:30~16:00



アトビヨ 代表
Ryotaro Ako氏

p08



エーテラボ株式会社
代表取締役CEO
長坂 剛氏

p09



株式会社リハートテック
取締役
笠原 直樹氏

p10



株式会社ジョリーグッド
シニアプロデューサー
青木 雄志氏

p11



CI Inc. 代表取締役
園田 正樹氏

p12

昨年度グランプリ受賞者経過報告 ————— 16:10~16:25

株式会社カケハシ

過去グランプリ受賞者によるパネルディスカッション ————— 16:25~17:15

登壇者(予定)

トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社 代表取締役 中西 敦士氏

株式会社カケハシ 代表取締役CEO 中尾 豊氏

株式会社mediVR 代表取締役社長 原 正彦氏

【モデレーター】Kicker Ventures, LLC CEO 清峰 正志氏

グランプリ発表・表彰式 ————— 17:15~17:50

Hakara

IDEA

10分1000円から利用できる、治療をしない予防歯科 Hakara



登壇者プロフィール

氏名：清水 章矢

所属：Hakara

役職：歯科医師

日本歯科大学歯学部卒。日本歯科保存学会認定医。

日本歯科大学附属病院歯内療法チームに在籍中に感じた歯科治療のジレンマと、スウェーデンなどオーラルケア先進国と比較にならない歯科健診受診率の低さを知ったことがきっかけとなり、「どうしたら予防歯科が一般的になるか」「国民のQOLの向上と国の医療費の削減にどう貢献できるか」を考え、10分1000円から利用できる予約も保険証も不要の予防歯科「Hakara」を考案。

「エキナカや商業施設内に、予約も保険証も不要で10分1,000円から利用できる、予防だけの歯科クリニック」

削る埋める抜くといった治療はしない、国家資格所有者である歯科衛生士を中心とした予防医療専門のクイックデンタルサービスです。

※ホワイトニングサロンではなく歯科医院です

- ・歯科健診（虫歯、歯肉、粘膜等のチェック）
- ・スケーリング PMTC（汚れ、着色除去）
- ・オーラルケアグッズの指導及び販売
- ・他院紹介（要治療の場合）
- ・企業向け歯科健診

5年で10店舗、規制緩和（歯科衛生士がクリニック開業可能に）を達成し、全国展開100店舗以上を目標とします。

散髪に行く気軽さで受診し、それが当然となることで「治療のない世界」を実現させます。



団体概要

歯科健診受診率を向上させ、QOLの向上と医療費の削減に貢献し「治療のない世界」を目指す、日本初のクイックデンタルサービス。2020年5月、日比谷線神谷駅3番出口直結の、虎ノ門40MTビルにHakaraデンタルクリニックを開業予定。

「三菱地所主催コーポレートアクセラレーター2017」優秀賞

「Tokyo Startup Gateway2018」優秀賞、オーディエンス賞

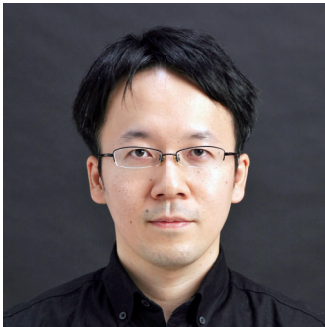
「未来2019」メディカル・ヘルスケア部門最優秀賞、Beyond Next Ventures 株式会社BRAVE賞

ファイナリスト事業内容概要

MAV

IDEA

身体にやさしい心臓病治療を可能にする新規カテーテルデバイス



登壇者プロフィール

氏名：三隅 祐輔

所属：大阪大学 心臓血管外科

役職：医師

心臓血管外科医師/ジャパンバイオデザイン第3期フェロー。

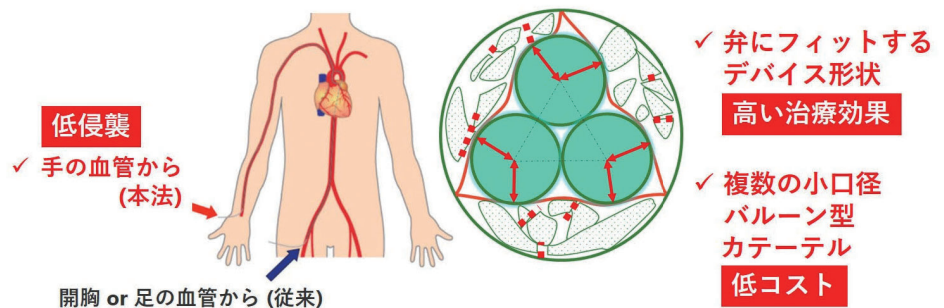
2009年、大阪大学医学部卒業後、約10年に渡り一般外科及び心臓血管外科の臨床業務に従事(虎の門病院、国立循環器病研究センター、桜橋渡辺病院、大阪大学医学部附属病院等)。大阪大学大学院博士課程在籍中にジャパンバイオデザイン・フェローシップを修了。現在、同フェローシップで立案した本プロジェクトの事業化に向けて活動中。

心疾患の一種「大動脈弁狭窄症」は、加齢に伴う動脈硬化で心臓の弁が開きにくくなることで失神・息切れ・突然死を来とし、未治療での5年生存率は50%と極めて不良です(75歳以上の有病率12.4%)。根治治療は病的弁を人工弁に取り換える「弁置換術」ですが、手術に伴う身体的・金銭的負担等の障壁があり、治療対象患者の約20%が適切な治療を受けられていない現状課題があります。

我々は新規カテーテルデバイスを用いた治療法を確立し、当該課題を解決します。本法は、既存治療よりも①身体的負担が少なく(入院期間が半分以下)、②低コストで(弁置換デバイスの1/10)、③疾患弁の機能を十分に回復させることで、現在適切な治療を受けられていない患者ひいては該当疾患を有する患者に広く治療機会を提供します。

治療概要

低侵襲カテーテルを用いた、新しい弁形成術



既存治療との比較



団体概要

本プロジェクトは、ジャパンバイオデザイン・フェローシップにて同定された潜在的医療ニーズに基づいて立案されました。臨床医とカテーテル開発エンジニア、医療機器開発専門家が協業してプロトタイプングを行っており、薬事・保険償還を見据えたコンサルを受けております。2019年にはNEDO-TCP審査員特別賞受賞、未来2019ファイナリスト選出を頂き、AMED橋渡し研究シーズA獲得、基本特許出願を経て、現在は非臨床POC獲得に向けたベンチ及び動物実験環境を構築中です。

IDEA

塩分管理をラクにする食品検索・食事管理アプリケーション「さがそと」



登壇者プロフィール

氏名：湯野川 恵

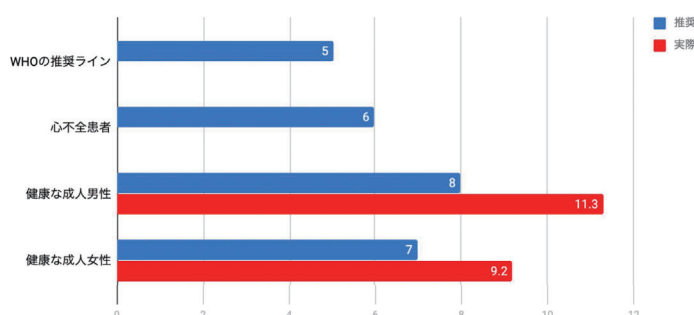
2018年神戸大学法学部法律学科卒業後、外資系コンサルティング企業に入社。同年に特発性拡張型心筋症と診断され、病状を考慮し退社。現在は、患者として通院しているゆみのハートクリニック(東京都豊島区)にスタッフとして入職し、医療機関と患者目線の両面を取り入れた塩分管理サービス『さがそと』の立ち上げに尽力している。

2030年には150万人を超えると推定されている心不全患者。心不全の治療に際して基礎の基礎となるのが塩分管理です。しかし、健康な人も含めて日本人は塩分を摂りすぎています。塩分の取りすぎには健康な人にとっても、心不全患者にとっても様々なリスクがあり、塩分管理は社会全体の課題と言えます。これほど大切なことにもかかわらず、『味が薄い』『美味しくない』といったネガティブイメージも強く、実際にやってみると塩

分管理のハードルは想像以上に高いものです。

さがそとは、指定難病とされている拡張型心筋症と診断され、実際に塩分制限が必要な患者の目線で立ち上げたサービスです。

スマートフォンアプリを軸に『画像認識による記録』と『食事内容の提案』のサイクルで『食べられる減塩生活』を叶えます。



LET'S SAGASALT!



ファイナリスト事業内容概要

カイトク株式会社

IDEA

介護ワークシェアリングサービス「カイスケ」



登壇者プロフィール

氏名：武藤 高史

所属：カイトク株式会社

役職：代表取締役

立命館大学・同大学院の情報工学の博士課程前期修了。在学時は、情報工学や遠隔操作ロボットの研究開発に没頭する。世界最大級の医師プラットフォームを提供しているエムスリー株式会社にて、主力サービスの責任者を歴任し、利益120%向上の実績を残す。さらに、自身も介護職として介護現場の仕事を経験し、「現場感」と「ITビジネス」の2つのスキルを活用して、介護業界の革新に命をかけるため「カイトク株式会社」を設立。

日本は人類が未だ経験したことがない「超高齢社会」に直面しており、2025年には国民の3人に1人が65歳以上という状況を迎えます。日本の介護需要が高まる中、介護業界を担う介護職の「人材不足問題」が業界の最重要課題となっています。しかし、国を含めて誰も明確な打開策の糸口が掴めていないのが現状です。そこで、私たちは本気でこの問題を解決するために開発したのが、業界初の介護ワークシェアリングサービス「カイスケ」です。「カイスケ」は

Web上で「介護資格証の認証⇒仕事探し⇒仕事確定⇒勤務⇒評価⇒給与受取」までを、簡単な操作で完結できます。「カイスケ」によってこれまで介護業界では成し遂げられなかった短時間での勤務を実現させ、時間や生活の制限から定時勤務や正社員として働くことのできなかった「潜在介護士」を掘り起こし、介護労働力を増加します。さらに、介護職と介護事業所のミスマッチを減らし、離職防止にも寄与していきます。



団体概要

2018年にカイトク株式会社設立。代表武藤が自身祖父母の介護施設に入所した経験から、日本で深刻かつ重要課題だと感じた「介護人材不足問題」を解決すべく設立した。これまでに、介護業界向けの「採用コンサル」「求人Web媒体開発・運営」「バーチャル施設見学」などのサービスを提供することで、介護業界の採用の進化に貢献してきた。2019年12月にカイスケのα版をリリースし、2020年に多くの介護職/事業所に広めるために、2020年3月までに資金調達予定(出資者募集中)。

セミファイナリスト

IDEA

稜美（りょうみ）

氏名：吉原かおる

所属：アリッジョリーナ

IDEA

パフォーマンスは脳が決める!味覚刺激によるパフォーマンス向上のための
商品開発を目的としたアスリートのコンディションと味覚変化及び脳波との関連の検討

氏名：長島 未央子

所属：鹿屋体育大学

IDEA

アートを活用した認知症の早期発見サービス

氏名：草野 将

所属：株式会社あゝのころコミュニケーションズ
役職：代表取締役

IDEA

Virtual Reality を用いた「どこでもマインドフルネス VR」

氏名：石原 裕輝

所属：広島大学
役職：理学療法士

IDEA

細胞画像認識を利用した薬効分析およびオーダーメイド医療

氏名：石橋 誠

所属：シンフォニクス
役職：代表

IDEA

診察効率化を目的とした「デジタル医療情報の処方」

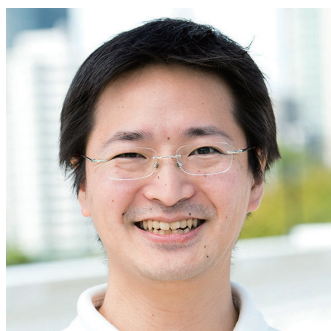
氏名：川端 一広

所属：Contrea（任意団体）
役職：代表

エーテンラボ株式会社

BUSINESS

ピアサポート型習慣化アプリ「みんなチャレ」を活用した 2型糖尿病の重症化予防



登壇者プロフィール

氏名：長坂 剛

所属：エーテンラボ株式会社

役職：代表取締役 CEO

1982年静岡県生まれ。2006年東京工科大学メディア学部卒業後、ソニー（株）に入社。B2Bの営業やプレイステーションネットワークのサービス立ち上げに従事。ソニーの新規事業創出プログラム「Seed Acceleration Program」から独立しA10 Lab Inc.を創業。

私たちが解決を目指す社会課題は「生活習慣病の治療が継続しない」ことです。例えば、糖尿病有病者の44%が治療途中で中断してしまっていて、放置すると合併症・重症化を引き起こし、患者のQOLが著しく損なわれ、医療経済的にも大きな負担となります。そこで、2型糖尿病予備群・患者にピアサポート型習慣化アプリ「みんなチャレ」を提供することで治療効果を向上し、ひいては医療費適正化に寄与することを目指します。

「みんなチャレ」は、糖尿病や高血圧の方が匿名の5人1組のチームを組み、チャットで励まし合いながら生活習慣の改善を行うことができるピアサポート型の習慣化アプリです。



団体概要

エーテンラボ株式会社 (A10 Lab Inc.) は行動変容と習慣化の「テクノロジーでみんなを幸せする」をミッションとして、ピアサポート型習慣化アプリ『みんなチャレ』の開発運営を行なっています。2019年度は経済産業省の「健康寿命延伸産業創出推進事業」に採択され、神奈川県庁と東海大学医学部と共に『みんなチャレ』を活用した2型糖尿病の方の生活習慣改善効果を評価する臨床試験を行っており、神奈川県内の自治体や病院、健診センターでの『みんなチャレ』のご案内を進めています。

アトピヨ

BUSINESS

日本初の "アトピー見える化アプリ" アトピヨ ～アトピーはみんなで治す時代へ～



登壇者プロフィール

氏名：Akio Ryotaro

所属：アトピヨ

役職：代表

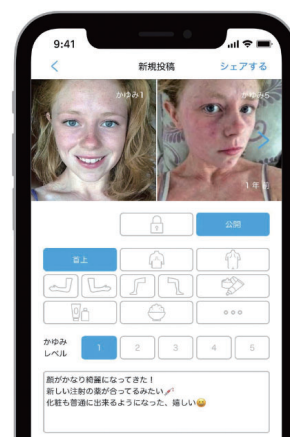
元アトピー。3児のパパ。プログラマー。工学修士。公認会計士。慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程修了後、公認会計士試験に合格。公認会計士として勤務する一方、アトピー、喘息、鼻炎という3つのアレルギー疾患の経験から、2年半に亘り、患者会でボランティア活動に従事。100人以上のアトピー患者へのヒアリング、薬剤師の妻の見解、プログラマーの指導・監修を経て、自ら本アプリを開発・リリース。

日本に600万人いると言われ、世界的にも患者が多い病気の一つであるアトピーは、患者の13%が「死にたいと思ったことがある」と答えるほど精神負担が重い病気です。また、アトピーの社会的損失は日本だけで746億円と推計されています。

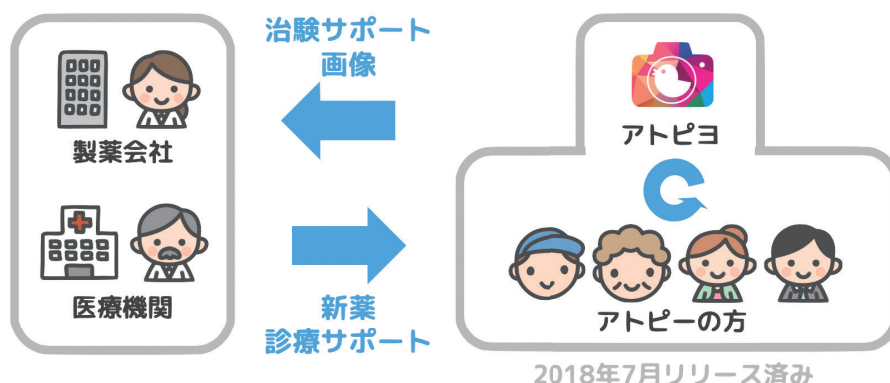
アトピヨは、アトピーを発症し悩んでいる方々の早期回復のサポートになることを目指し、文字だけでなく「画像」を投稿することで、アトピー特有の皮膚症状（状態）を匿名で記録・共有できる日本初のアプリです。

（App Store・Google Playを調査。2018年7月アトピヨ調べ。）

App Storeリリースから1年半で、1万ダウンロードを突破し、1万1千枚のアトピーの画像が投稿されています。また、アプリの平均評価は4.6（5段階評価）とユーザーからも高い支持を得ています。



～アトピーはみんなで治す時代へ～



団体概要

【アトピヨ】

元アトピーのRyotaro Akioが、元アトピーで薬剤師である妻のAkiko Akioと企画・開発し、2018年7月にApp StoreからリリースしたiPhoneアプリ。

慶應義塾大学医学部主催 第3回健康医療ベンチャー大賞 3位入賞、Healthcare Venture Knot 2019 優秀賞、TechAcademy Contest 2018 Summer 最優秀賞、第13回キッズデザイン賞受賞。

【Akiko Akio】

元アトピー。3児のママ。薬剤師。ママ・女性の目線からのアドバイザー。

株式会社ジョリーグッド

BUSINESS

発達障害支援機関向けソーシャルスキルトレーニング VR「emou（エモウ）」

JOLLY
GOOD!



登壇者プロフィール

氏名：青木 雄志

所属：株式会社ジョリーグッド
事業開発部

役職：シニアプロデューサー

1986年東京都生まれ。テレビ番組制作会社にて在京キー局の番組ディレクターからキャリアをスタート。その後、起業経験を経て、2014年にデジタル系制作会社に参加。クリエイティブディレクターとして、国内大手クライアントのキャンペーン・事業開発業務に従事。2018年4月より株式会社ジョリーグッドに参加、事業開発部シニアプロデューサーに就任。発達障害支援機関向けのサービス、ソーシャルスキルトレーニングVR「emou」の事業開発責任者として教材開発、営業戦略まで幅広く手がける。

発達障害のある方が社会スキル獲得のために行うソーシャルスキルトレーニング（SST）は、これまで支援者の腕でクオリティが大きく左右されていました。そこで株式会社ジョリーグッドは、専門医監修のもと、VR技術によって360度実写の現実空間を教材にSSTが実施できるソーシャルスキルトレーニングVR「emou」を、発達障害支援機関に向けて2019年3月より提供開始しました。ヘッドセットを装着

すると、VRで再現された教室・職場での他人との会話、突発的な不測事態などを本人目線で体験可能。これまで難しかった「支援者と当事者間でのイメージ共有」を可能にし、より高い次元でのトレーニングを実現しました。「誰もが平等に参加できる社会の実現」に向け、全国各地の民間福祉施設、学校法人、医療機関での導入が進んでいます。



団体概要

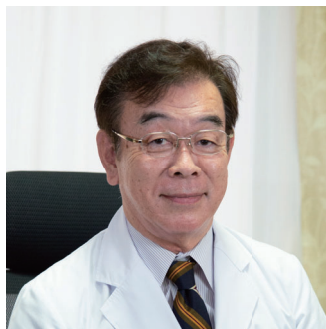
株式会社ジョリーグッドは2019年「日本e-Learning大賞」を受賞した介護士教育VRの開発をはじめ医療・福祉分野などでVRを活用した様々なサービスを開発するテクノロジーカンパニーです。高精度な「プロフェッショナルVRソリューション」と、VR空間のユーザー行動を解析するAIエンジンなどのテクノロジーを、「地域の生活者や企業が活用できるテクノロジープラットフォーム」にデザインして、数多くの企業や自治体に提供しています。

ファイナリスト事業内容概要

株式会社リハートテック

BUSINESS

和歌山発、誤嚥の予防のために開発した器具
「タン練くん」の製造販売。全国のお年寄りを助けたい。



登壇者プロフィール

氏名：笠原 直樹

所属：株式会社リハートテック
経理・営業代表

役職：取締役

岐阜歯科大学を卒業後、28歳で歯科医院を開業し、60歳で息子に歯科医院を譲るまで山間部の老人ホームに口腔ケアを週に1回、10年間行っていた。

誤嚥性肺炎による死亡者が減らず、60歳の時に特別養護老人ホーム「岩出憩い園」を開設。

毎日、歯科衛生士とともに口腔ケアを行ったが、完全には誤嚥性肺炎はなくなり、視点を嚥下の筋力トレーニングと変え、口腔嚥下機能訓練具、嚥下リハビリボトル「タン練くん」を開発。

特許を取得した。実際、販売を開始したのは平成30年9月17日からである。

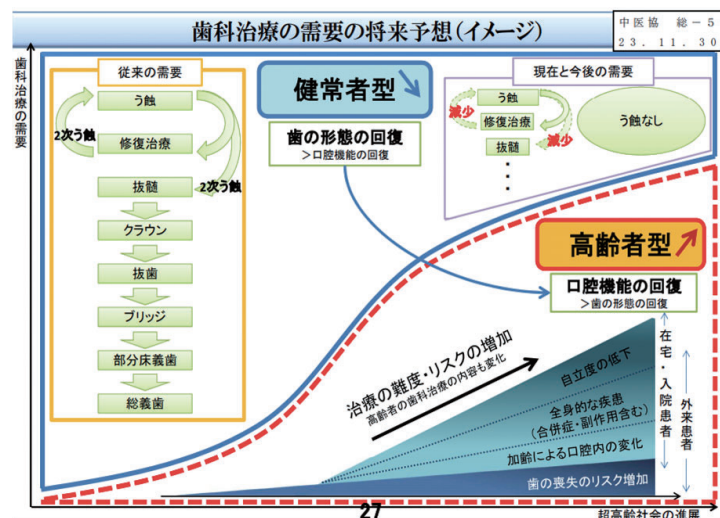
近年、高齢化が進み、誤嚥性肺炎による死亡者が毎年一万人単位で増えている。それに伴い、医療費の増加も4,300億円から増え続けている。今までの対応では増加は止まらないと思われる。誤嚥しだす対策として柔らかいもの、トロミをつけたものを摂取し、嚥下体操などを行うも誤嚥患者数は増え続けている。

赤ちゃんの哺乳瓶の吸い口を大人用にしてその弾力性を訓練用のものとし、特許を取得し、一般医療機器として認可された。積極的に舌に負荷をかけてそれに続く嚥下筋力を鍛えるというものである。

赤ん坊の生存本能（原始反射）舌と顎、嚥下関連筋を動かして乳を飲む本能。または物を飲み込む動作は必ず舌は上あごにつき、咽頭に送られる。その際、舌、舌骨、

喉頭蓋と連動する。この二つの人間が持つ本能、反射を利用して飲み込む筋肉の弱った高齢者や障がい者等に飲み込むだけで鍛えられる。口腔嚥下機能訓練具を世に出し、苦しんでいる人を救い、医療費を抑制したい。

またいずれ介護保険認定商品となることを目標としている。



団体概要

和歌山にて歯科医院を30年経営したのち、2012年に社会福祉法人「紀の国福樹会・岩出憩い園」を設立。理事長として運営に携わる。

歯科医時代から誤嚥で苦しむ高齢者を目の当たりにし、嚥下力強化器具「タン練くん」を開発、特許取得。2018年11月より株式会社リハートテックを設立し、取締役として販売を手掛ける。2019年11月には機能訓練・嚥下機能リハビリ器具として一般医療機器に認定される。

株式会社リハートテックも一般医療機器製造販売業として改め、改良を加え、販売する。

ファイナリスト事業内容概要

CI Inc.

BUSINESS

病児保育室と家族をつなぐ「あずかるこちゃん」



登壇者プロフィール

氏名：園田 正樹

所属：CI Inc. (シーアイ・インク)

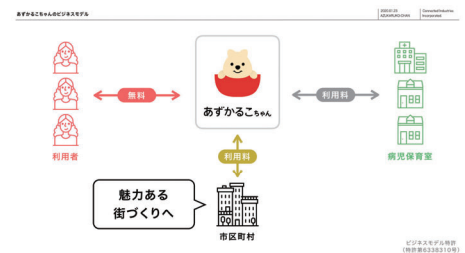
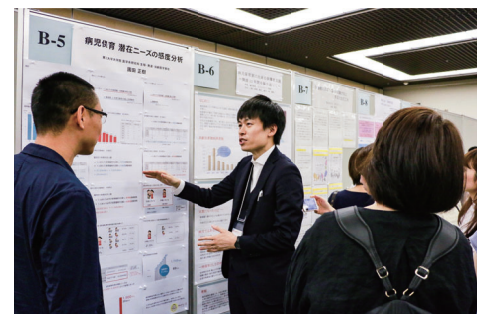
役職：代表取締役社長

新潟県糸魚川市出身。佐賀大学医学部卒。

産婦人科医として、産後うつや虐待に関わる。東京大学大学院で公衆衛生を学び、生活をいかに変えるかに関心を持つ。実践により社会をよくしたいと考え、大学院を休学。プロフェッショナルが有機的に繋がることで世界を変えるという想いから、2017年Connected Industries Inc.を設立。自身も実装者の一人となるべく、デジタルハリウッド大学大学院に進学。

産婦人科医として女性に関わる中で「風邪のような軽症の病気でも保育園に子どもを預けられず、仕事を休み、退職することになった」という女性に出会う。『病気』ではなく『生活』を変えていくことで、医師として解決が難しかった課題を予防・解決することが可能なのではないかと考えた。感染症などにより保育園で預かることができない子どもを『病児』といい、病児に対して一時的にケアと保育を行ってくれるのが『病児保育室』である。病児保育室は、

社会インフラとして重要な役割を担っているが、認知度の低さや、利用方法が煩雑であるなどの課題も多い。また、これらの課題により、利用率が低いという現状がある。私たちはこの課題を解決するために病児保育室と家族をつなぐ『あずかるこちゃん』を開発し、安心して子育てができる社会を目指している。



団体概要

2017年7月7日に創業。産婦人科医である代表を中心に、医療者、デザイナー、エンジニアでチームを作り、「子どもと子育てに関わるすべての人の笑顔をつくる」をミッションに掲げ活動。2018年に第12回 キッズデザイン賞「キッズデザイン協議会 会長賞」受賞、第7回健康寿命をのばそう!アワード「厚生労働省子ども家庭局長賞 企業部門 優良賞」受賞。2019年に起業家万博 5つの賞を受賞、CEATEC AWARD 2019「Co-Creation PARK賞」受賞。現在、全国5施設にて実証実験を実施中。

セミファイナリスト

「カロリー」ではなく「カロリー密度」に注目した「デンシエット」で
あなたに寄り添う食事を提供したい

BUSINESS

氏名：奥村仙示

所属：徳島大学 医科栄養学科 臨床食管理学分野
役職：講師

在外同邦人を対象とした ICT によるヘルスケアサポート「Doctorfellow」

BUSINESS

氏名：丹羽 崇

所属：株式会社 Medifellow
役職：代表取締役 CEO

日本の伝統技術を応用した蛇腹構造による皮膚表面への幾何学的立体密着機能によって
非侵襲的陽圧呼吸時の密閉性を確保した状態で圧損傷を予防可能にした革新的人工呼吸器用マスク

BUSINESS

氏名：岩本修一

所属：株式会社 iDevice
役職：CMO

服薬支援デバイス HOOKY

BUSINESS

氏名：武蔵 国弘

所属：株式会社メディカルプラットフォーム
役職：代表取締役

毛細血管スコープによる健康指標構築事業

BUSINESS

氏名：武野 團

所属：あっと株式会社
役職：代表取締役



EY 新日本有限責任監査法人
シニアパートナー
藤原 選 氏



株式会社INCJ
マネージングディレクター
丹下 智広 氏



株式会社シルバーウッド
代表取締役
下河原 忠道 氏



デジタルハリウッド大学大学院
客員教授・医師
加藤 浩晃 氏



Tomy K Ltd.
代表
鎌田 富久 氏



漆間総合法律事務所
副所長
吉澤 尚 氏



守屋実事務所

株式会社守屋実事務所
代表
守屋 実 氏



Lifetime Ventures

ライフタイムベンチャーズ
代表パートナー
木村 亮介 氏



グロービス・キャピタル・パートナーズ
ディレクター
福島 智史 氏



アクサ生命



INDEE Japan



Digital Health
CONNECT

地球の恵みを、社会の望みに。



8[∞] EIGHT ROADS™



おいしさと健康



NEC
NECソリューションイノベータ

NTT
docomo



Daigas
Group

大阪ガスグループは、Daigasグループへ。



O.B.D.A.









Sociotank



一生涯のパートナー
第一生命



大和総研ビジネス・イノベーション
Daiwa Institute of Research Business Innovation







東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

TOPPAN



豊田通商株式会社



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



奈良東病院グループ
NARA HIGASHI HOSPITAL GROUP



新潟ベンチャーキャピタル
NIIGATA VENTURE CAPITAL

NICORIO

日経デジタルヘルス

IBM
blue
hub



医機連 一般社団法人 日本医療機器産業連合会
JFMDA
The Japan Federation of
Medical Devices Associations

■サポート団体



HGPI
Health and Global Policy Institute



日本抗加齢医学会



日本抗加齢協会



JAPAN AIRLINES



日本生命



日本調剤



一般社団法人
日本ヨガメディカル協会
YOGA MEDICAL SOCIETY IN JAPAN



JSCR
Japan Society of Clinical Research



阪急阪神ホールディングス





株式会社ホオバル



松本地域健康産業
推進協議会



三井住友海上あいおい生命



三井住友海上



三井住友海上キャピタル



SMBC

三井住友銀行



三井住友ファイナンス&リース



MITSUI & CO.



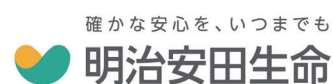
三菱UFJキャピタル



三菱UFJ銀行



三菱UFJリース



メットライフ生命

MEDIVA

Medical Innovation and Value-Added



株式会社 メディカル・プリンシプル社



MedVenture
Partners



株式会社メブラジャパン

MEPLA







TECH for LIFE
2020年3月～ 未定



HIMSS & Health 2.0 Japan
2020年12月(予定) 未定



始動×医療innovator交流会2019
2019年12月7日 セントラルパークビル



医療者とヘルスケアベンチャーを結ぶ

Healthcare Venture KNOT 2019
2019年10月26日 ベルサール御成門駅前



慶應義塾大学医学部主催
健康医療ベンチャー大賞
2019/12/8 日本橋ホール

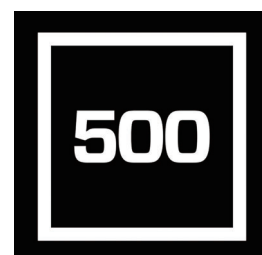


メドテック
グランプリ

第2回メドテックグランプリKOBÉ
2019年12月15日 神戸臨床研究情報センター(TRI)

No image

2019 日米医療機器イノベーションフォーラム神戸
2019年11月8日 神戸ポートピアホテル



500 Startups Kobe Accelerator
2019年11月4日～12月16日 デザイン・クリエイティブセンター神戸



HealthCare IT

ヘルスケアIT 2020

2020年1月28日・29日 東京ビッグサイト 青海展示棟

0→1Boost Conference 2020

0→1Booster Conference 2020

2019年12月4日 東京国際フォーラム

AGING^{2.0}

Aging2.0

未定 未定



EY Building a better
working world

EY新日本企業成長サミット2020

2020年3月3日 虎ノ門ヒルズフォーラム



SENIORLIFE INNOVATION CHALLENGE
シニアライフ イノベーション チャレンジ

シニアライフ・イノベーション・チャレンジ 2020

未定 未定



Incubate Camp 13th

2020年秋 千葉県木更津市(予定)

HVC KYOTO

HVCKYOTO2020

2020年7月2日 京都リサーチパーク西地区KRP4号館

バーチャル家庭医委員会

メディループ

～女性のためのバーチャル家庭医ホスピタル～

2020夏開催予定 未定

今後の成長が期待される4分野で、
新たな事業にチャレンジする企業をサポートします。

Rise Up Festa

MUFG 三菱UFJ銀行

Rise Up Festa

2020年7月3日 JPタワー ホール&カンファレンス



J-Startup

J-Startup Hour

毎週木曜日 18:00~19:00 虎ノ門ヒルズカフェ



Japan Venture Awards 2020

2020年2月25日 虎ノ門ヒルズフォーラム



MEDIC



BRAVE アクセラレーションプログラム

第2回ヘルスケアベンチャー大賞

主催：日本抗加齢協会 共催：日本抗加齢医学会

第2回ヘルスケアベンチャー大賞 2020年10月26日 日本橋ライフサイエンスHUB



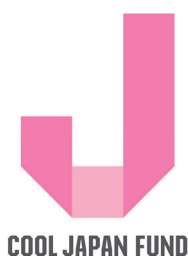
クロスヘルス EXPO 2020

日経クロスヘルスEXPO 2020
2020年10月14日~16日 東京ビックサイト



厚生労働省

厚生労働省では、医薬品・医療機器・再生医療等製品の実用化を目指すベンチャーを支援する相談事業（MEDISO）やマッチング機会を提供するジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミットなど、医療系ベンチャーを育てるエコシステム確立のための施策に取り組んでいます。



株式会社 海外需要開拓支援機構

クールジャパン機構は、日本の魅力ある商品・サービスの海外需要開拓を支援・促進します。ヘルスケア・先端テクノロジー分野も含め、同分野のVCファンドへのLP出資等を通じ、世界で活躍できる日本のベンチャー企業の創出・育成に取り組んでいます。



株式会社 INCJ

株式会社INCJ（旧産業革新機構）では、ヘルスケア領域のベンチャーへの投資に加え、ベンチャー・大企業・行政機関など様々なプレイヤーの強みを生かした連携を促進することで、健康寿命を伸ばすためのエコシステムを共同構築することを目指しています。



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDOでは、事業化の専門家・ベンチャーキャピタル・事業会社等と連携し、起業から事業化まで一貫した研究開発型ベンチャーに対する支援事業を実施しているほか、福祉用具など各分野で事業化支援を実施し、中小・ベンチャーの事業化支援に取り組んでいます。

地域経済活性化支援機構

株式会社 地域経済活性化支援機構

地域経済活性化支援機構（REVIC）は、地域金融機関等と共同して地域活性化ファンドを運営し、REVICのノウハウを共有することで、各地域の経済活性化を牽引する事業者を支援します。ヘルスケア領域では、医薬品・医療機器・デジタルヘルス等事業者を支援しています。



独立行政法人 中小企業基盤整備機構

中小機構は、国の中小企業政策の総合的な実施機関として、生産性向上や事業承継など様々な課題を抱える中小企業に対して、販路開拓、海外展開、人材育成、事業引継ぎ、並びに共済制度、ファンドを通じた資金提供など多様な支援をトータルで実施しています。



株式会社 日本政策投資銀行

(株)日本政策投資銀行では、グループのDBJキャピタル(株)などを通じた医療系ベンチャー企業への出資や、日本の医療系企業の事業開発サポート(ベンチャーのエグジット対応含む)、海外のベンチャーファンドからの情報収集などを実施しています。



独立行政法人 日本貿易振興機構(ジェトロ)

日本貿易振興機構は、日本から海外、海外から日本へ、双方向のビジネスを支援する独立行政法人です。国内外での商談イベントの開催や、海外ビジネスの専門家による個別相談等を通じて、日本企業のグローバル展開支援に取り組んでいます。



国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

宇宙航空分野における基礎研究から開発・利用まで一貫して行うJAXAでは、様々なオープンイノベーション型の取り組みにより、ベンチャーから大企業まで様々なパートナーと共に、宇宙分野に閉じるここのない技術革新、新規事業創出を目指しています。



一般社団法人
日本医療ベンチャー協会

一般社団法人 日本医療ベンチャー協会

医療・ヘルスケアビジネスに携わるベンチャーの為に「各社ノウハウの集合知化」「情報の一元化」「課題の集約・解消」を図る場として、遠隔診療、医療機器、AI、PHR等の各分科会・勉強会の開催や各ステークホルダーとのコミュニケーションを行っています。

JHeC2019 ビジネスコンテスト部門グランプリ受賞企業からのメッセージ



株式会社カケハシ
代表取締役 CEO 中尾 豊 氏

調剤薬局の薬剤師向け服薬指導支援ツール
「Musubi」の展開が加速。
さらに、医療領域の次世代 IT インフラ構築に向けた
新規事業のきっかけに。

弊社は「日本の医療体験を、しなやかに」をミッションに、日本の医療をより良くより確かなものとして次世代へつないでいくための、エコシステムの構築を目指しています。

2019 年度には、患者さんの疾患の重症化予防や健康意識の増加および薬剤師の業務効率化による薬局経営改善をサポートするクラウド電子薬歴「Musubi」で、グランプリの栄誉にあずかることとなりました。この受賞は弊社の知名度および信用度の大幅な向上につながり、事業拡大の強い後押しになっています。現在は、全国の調剤薬局に向けて Musubi の導入を推進しながら、医療領域における次世代 IT インフラの構築を目的とした新規事業の創出に邁進しているところです。

ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテストを通じて、ヘルスケア分野の社会的課題解決に取り組む企業・団体の挑戦が加速し、日本のヘルスケアビジネスにより一層の進化がもたらされることを、心より祈念しています。



archive

JHeC2018 グランプリ受賞企業：株式会社 mediVR

JHeC2017 グランプリ受賞企業：トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

JHeC2016 グランプリ受賞企業：MRT 株式会社

※JHeC2019 から「ビジネスコンテスト部門」「アイデアコンテスト部門」の2部門で開催しています



Healthcare Innovation Hub（通称：InnoHub）は、2019年7月に設立された、ヘルスケアおよびライフサイエンスの分野に関連する、企業や団体、創業前の個人等からの相談をワンストップで受け付ける相談窓口です。

InnoHubで受け付ける相談内容は幅広く、資金調達（補助金・助成金を含む）や人材確保、実証実験の実施、営業販路拡大、海外展開など多岐に渡ります。また、相談内容に応じて、同分野でベンチャー企業等の支援を行っている個人である「InnoHub アドバイザー」や、事業会社・団体等である「InnoHub サポーター団体」の紹介を受けることが可能です。同時に、ヘルスケア関連のイベント等と連携し関連情報提供も行い、多面的な支援を提供することでヘルスケア・ライフサイエンス分野のエコシステム構築を目指しています。

InnoHubでは、ベンチャー企業等の相談者に対して支援を行う「InnoHub サポーター団体」を随時募集しています。InnoHub サポーター団体は、InnoHub や InnoHub アドバイザーを介して相談者とのマッチング機会を得ることが可能です。加えて、他の InnoHub サポーター団体や InnoHub アドバイザーとのネットワーク構築や、ヘルスケア関連のイベント情報を提供いたします。

【お問い合わせ先】

Healthcare Innovation Hub

（運営受託者：株式会社日本総合研究所）

Website : <https://healthcare-innohub.go.jp/>

E-mail : 200010-meti_innohub@ml.jri.co.jp

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング 4 階 407 号室





経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

!nnoHub
Healthcare Innovation Hub